

(平成29年度分)

団体名	社会福祉法人 白寿会
	
	

JR西日本あんしん社会財団様よりAED等訓練器の提供を受けて2年目、今年度は、従来からの当法人職員への救命講習をさらに充実させるとともに、一般の方が集まる場でのプログラム企画をはじめ、地域住民や地域の事業所への出前講座を積極的に行いました。

- ① 職場内での普通救命講習の実施…3時間連続での講習実施が難しい状況があり、1時間ごとの分割実施で修了につなげる取り組みをはじめました。当法人職員および関係者については、「救9の日」として毎月9日(土日祝をのぞく)にA・B・Cという3種類の講習を企画し、複数回の参加で普通救命講習が修了できるようになりました。
- ② 今年をはじめ取り組んだ「介護のしごとバスツアー」という企画のなかで、救命講習をプログラムとして設定し、希望者に短時間でしたが、心肺蘇生法とAEDの使用方法について学んでもらう機会をつくりました。
- ③ 地域住民・事業所向け出前講習の実施…「玉出地域活動協議会」の主に玉出地域ネットワーク委員の皆さんを対象とした研修プログラム、「南大阪総合健診センター」の職員研修プログラム、「ヤクルト加賀屋センター」のヤクルトレディ対象の研修プログラムとして実施。玉出地域活動協議会については、90分プログラムで救命入門コースの参加証を申請、南大阪総合健診センターは3時間連続プログラムで普通救命講習の修了証を申請、ヤクルト加賀屋センターについては週1回・1時間講座を3回連続実施する形で普通救命講習の修了証を申請、発行を受けることができました(ヤクルト加賀屋センターについては申請中)。

地域への出前講座で感じたのは、その関心の高さと熱心さです。皆さんの積極的な参加で、私たちがやりがいを感じ、たくさんの元気をいただきました。